

## エスケーマスチック

マスチック塗材ローラー工法

特 長

用 途

荷 姿

危険情報と安全対策

標準施工仕様

性能試験成績表

エスケーマスチックは、マスチック塗材ローラー工法用の塗料です。厚付けに適した多孔質ハンドローラーを用いたローラー工法により、材料の飛散も少なく、一度に厚付けすることが可能です。エスケーマスチックには、A (主として外部用)、C (内外部用) があります。

1. 厚塗り層を一回塗りで塗付することができます。
2. 吹付工法に比べて養生を軽減でき、塗材の飛散も少なく、作業環境や周辺環境の汚染防止に役立ちます。
3. 下地への密着性、耐水性、耐アルカリ性、耐洗浄性に優れています。
4. 耐久性が高く、長期に亘って美観を維持します。
5. ローラー作業性に優れています。

① 住宅・マンションなどの内外装

エスケーマスチックA	20kg石油缶 (14~16㎡/缶)
エスケーマスチックC主 材	20kg袋
エスケーマスチックC混和液	8kg石油缶 (14~15㎡/セット)
エスケーマスチックシーラー	16kg石油缶 (106~160㎡/缶)

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、「危険情報と安全対策」をよくお読みください。

MR-A工法

(23℃)

工程	材 料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下・pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷・不陸・目違いなどは補修調整してください。							—
1 下地押さえ	エスケーマスチックシーラー	既調合	0.12~ 0.15	1	—	3以上	—	ウールローラー
2 主材塗り	エスケーマスチックA	100	1.2~ 1.4	1	—	—	16以上	多孔質ハンドローラー
	清 水	0~5						

- ※1. 塗り幅は80cm前後を標準とし、塗り継ぎ部が目立たないように、むらなく塗り付けてください。  
 ※2. パターンが不均一になった場合は、同一作業時間内に追い掛け塗りを行い、むら直しを行って調整してください。(その他の仕上げについては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。)  
 ※3. 押出成形セメント板、GRC板、PC部材などの特殊下地については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。なお、軽量PC部材への施工は避けてください。  
 ※4. エスケーマスチックシーラーは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗剤水での塗装器具の洗浄は行わないでください。  
 ※5. この他の仕様について、詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。  
 ※6. 「所要量」は塗装条件等により異なりますが、被塗装面に付着させる塗料の標準塗付量はエスケーマスチックシーラーで「0.12kg/m<sup>2</sup>」、エスケーマスチックAで「1.2kg/m<sup>2</sup>」となります。各材料の使用数量などを算出する際には、「所要量」を基準としてください。  
 ※7. 防火認定仕様、または公共建築工事標準仕様 [新築・改修] につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

都市機構 機材の品質判定基準 (平成16年度版) - 建築編 -  
 マスチック塗材Aの品質基準による物性結果

試験項目	結 果	品 質	
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合 格	ひび割れが生じない。	
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準状態	2.0	0.7以上
	浸水後	2.2	0.5以上
温冷繰返し作用に対する抵抗性	合 格	剥がれ、ひび割れ、膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。	
透水性 (m <sup>2</sup> )	0.2	1.5以下	
促進耐候性	合 格	ひび割れ、剥がれがなく、変色がグレースケール3号以上。(500時間照射)	
燃 焼 性	合 格	難燃1級に合格のこと。	
中性化深さ (mm)	0.0	3.0未満	

※この試験結果はAE工法のものです。